

## 新潟の名峰 浅草岳(1,586m)

報告:T

◎山行日：2017年4月25日

◎メンバー：T(リーダー)、弟、H氏

「浅草岳」は福島県境に位置する新潟の名峰で、冬は豪雪地帯です。今回は積雪期しか登れないスキーツアーコース、白崩沢から登る事にします。

24日は7時に家を3人(弟、山ノ会の1人)で出発し、六日町の「坂戸山」にカタクリ見学と足慣らしに登り、途中の「六万騎山」にも寄り、やはりカタクリを見て途中の須原に有るT酒造の「ゆきくら館」に寄り酒を買い、大白川の民宿に向かいます。民宿の主人が17時でないと言わないと言っているので、宿を通り越し大原スキー場の駐車場で「ゆきくら館」で買って来たお酒で一休みしてから17時に宿に入ります。夕飯は山菜づくしを食べきれないほど出て、明日の朝食は5時半にお願いし早めに寝ます。

25日は予定通りの時間で朝食を済ませ浅草岳に向かいます。大自然館(廃業)の先も除雪は済んでいますが通行止めになっている為、路肩に駐車して6時55分に車道を歩き出します。(先行者の駐車2台)

私はピン付き長靴のため極力雪の上を歩き、弟は長靴、仲間は登山靴なので舗装路を歩きます。10分ほどで白崩沢に掛かる橋の手前で右のスキーツアーコースに入り、急坂を登ると旧林道?らしき平坦で幅広な所を白崩ノ滝に向かって進みますと30分位で左前方に滝が見えます。



白崩ノ滝

滝を左に見てしばらく行き、右手の杉の植林地帯に入って行きます。幸いにも先行者の12本爪のアイゼン跡が有るのでそれを追います。植林地帯が終わると見覚えの有るブナの大木を通り過ぎ、ここから少し急坂を登りますと見晴らしの効く気持の良い尾根に出ます。尾根を右に登って行きますと前方にはカエヨノボッチが遥か彼方に見え、振り返ると一昨年に登った「守門岳」が綺麗に雪を纏って見えます。この尾根伝いに行けばカエヨノボッチ・前岳を経て浅草岳に至りますが、5月の末になると尾根には至る所にクラックが入っています。カエヨノボッチを見ますと、先行者が二人登って行くのが微かに見えます。1時間位の差でしょう。先行者のトレースに続きカエヨノボッチを右に巻くと、クラックが大きく口を開き危険なので後続の二人には直登させます。カエヨノボッチから直ぐ前方に前岳が見えます。前岳から振り返りますと単独のスキーヤーと2人が登って来ます。北側は雪庇が落ちています。



カエヨノボッチ



守門岳を望む

11時15分、雪が解けて地面が出ている「浅草岳」山頂に到着です。山頂は360度の展望です。眼下に田子倉湖、遠方に燧ヶ岳、至仏山、平ヶ岳、奥白根、中ノ岳、駒ヶ岳、蒲生岳、会津駒、栗ヶ岳、遥か彼方に飯豊連峰等が見えます。昼飯を食べ写真を撮り12時に下山に掛かります。午後は雪が緩んで来たので岩の出たカエヨノボッチを過ぎてから、かんじきを着けて下ります。



浅草岳山頂



山頂から田子倉湖を望む



カエヨノボッチを振り返る

下りの速度は早いですが、かんじきでも歩き難く、尾根分岐手前でかんじきを外します。そしてブナの大木を通過して植林帯に入り白崩ノ滝をめざして下ります。白崩ノ滝からは旧林道を下るのみなので気が楽になります。取り付き地点に14時16分、駐車場に14時23分着です。山中で会った人はスキーヤー数人で先行者二人には会えませんでした。天候と展望に恵まれて楽しい7時間半の山行ができた事に感謝です。

#### [コースタイム]

駐車地点6時55分発～登山道取り付き7時2分～白崩ノ滝7時30分～尾根分岐8時35分～カエヨノボッチ10時35分～前岳11時～浅草岳山頂11時15分着、12時迄昼飯～前岳12時12分～カエヨノボッチ12時30分～尾根分岐13時30分～白崩ノ滝14時～登山道取り付き地点14時16分～駐車地点14時23分着